

case

農業

いわき農林事務所
農業振興普及部 経営支援課

(平成29年度採用)

私は

体を動かすこと

が好き!

わたしを表すキーワード

keyword 01

#トマト

トマトに関する業務を担当しております。栽培方法、品種による違いなどを知り、さらにトマトが好きになりました。

keyword 02

#ゴルフ初心者

休日は、近所のうちばなしで日頃のストレスを発散しています。スコア向上と運動不足解消に向け日々練習を頑張っています。

keyword 03

#笑い

keyword 04

#サウナ好き

keyword 05

#ポジティブ思考

5



略歴

H29～R元 県中農林事務所 田村農業普及所

R2～現在 いわき農林事務所 農業振興普及部

福島県の農業を支えるスペシャリスト

農家に出向いての栽培技術指導や、地域農業の課題解決に向けてJA、市町村など関係機関とのコーディネートをします。「地域の農業振興のために何が必要か」を自ら立案・計画し、目標達成に向けて活動できることが魅力です。成果が上がったときの農業者の笑顔を見るとやりがいを感じます。

県職員を目指した理由

大学時代に学んだ農学の知識を生かし、生まれ故郷の福島で農業者へ直接支援ができる普及指導員になるため、福島県職員の「農業職」を志望しました。



とある一日のスケジュール

8:30	メール・回覧文書の確認	13:00	指導会会場へ移動
9:00	農業者より病害虫に関する問い合わせ	13:30	会場のは場に到着 トマト栽培指導会
10:00	問い合わせの農業者の ほ場へ訪問、対策指導	16:00	帰庁、関係機関・団体との 会議に向けた準備
11:30	帰庁、活動記録の作成、 野菜チームへ情報共有	17:15	終業
12:00	昼休み		

印象に残っている経験・エピソード

売上が伸び悩んでいる若手農業者に、新しい品目と技術の導入を提案したところ、売上増加につながったことはとても印象に残っています。「担当者があなたでよかった」と言っていたら、農業者と信頼関係が築けたうれしさと、役に立つことができた達成感がありました。



↑トマト栽培の指導会を実施

福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



福島県の農業を、学生から職業として選択されるような活気ある産業にしたいです。多くの産地で抱えている担い手の減少や収益の伸び悩みなどの課題解決に向け、行政・普及・研究のそれぞれの立場から、前例にとらわれない新しい取組にたくさん挑戦していきます。

(令和5年3月現在)